

# おかえり ツバメ達 hometown 東十条へ!

北区立東十条小学校  
第5学年

## 1 研究した理由

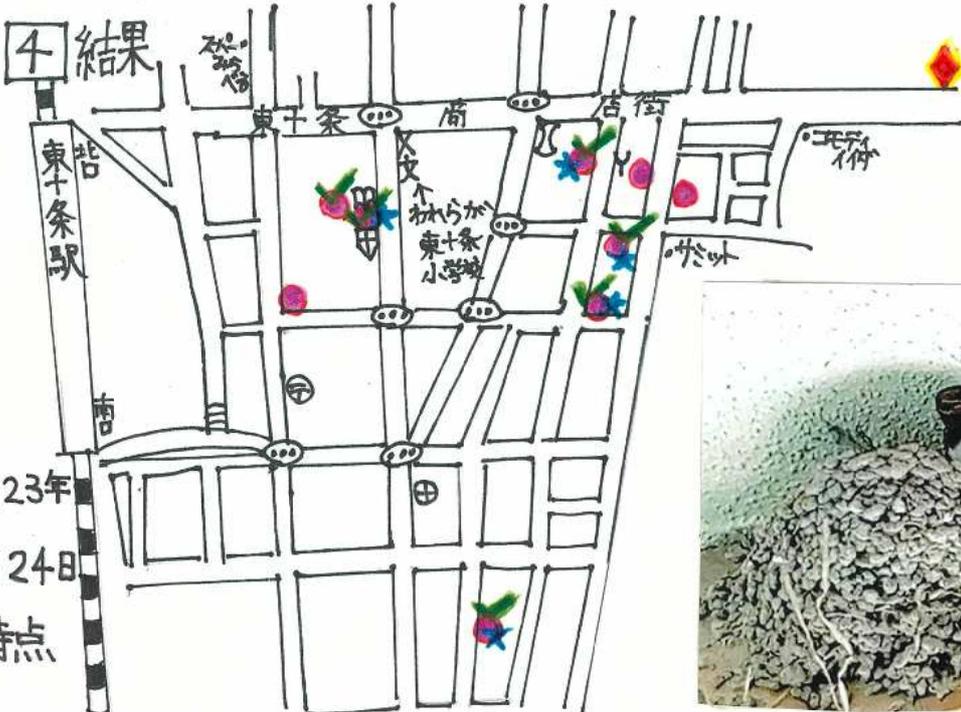
私は去年、ツバメが巣づくりをする条けんについて調べた。外できからわが子を守るために、目の前に電柱があり、日さしでかげになっていて、ツバメに理解がある人がいる地いきをえらんで巣を作ると分かった。ツバメは、フィリピンやベトナム、マレーシア、インドネシアなどから、2000km~5000kmものきよりをわすか17cmの体で力強く飛んでくる。また、巣立ったツバメは巣の近くですごした後、あらか川の上流にあるヨシ原に集団ねぐらを作る。そして秋になると、集団で南国にわたる。しかしまだ気になることが残っていた。1つ目は、どのくらいのわり合で去年産卵した所にまた産卵するのかというき問だ。ツバメは、基本的に同じシーズンに2回子育てをする。2つ目は、東条ではどのくらいのわり合で同じシーズンに2回以上子育てをするのかというき問だ。

## 2 予想

去年話を聞いたせん湯のご主人によれば、そのせん湯だとほぼ毎年卵を産みにくるそうだ。なので、70~80%が去年と同じ場所に産卵するのではないかな。  
また、東十条はツバメが巣立ちやすいように工夫しているところがたくさんあるので、ツバメにとって完ぺきではないかもしれないが、はんしょくしやすいのではないかな。

## 3 調べ方

まず、去年と同じ場所にある巣で、今年も子育てをしている巣の数を、もととなる去年子育てをしていた巣の合計でわる。それで出た、今年も同じ場所で巣を作るわり合を全国と比べ、東十条は子育てがしやすいかはたぶんする。そして、今シーズンで2回以上子育てが行われた巣の数を、もととなる今年の巣の合計の数でわり、わり合を求める。それも全国のわり合と比べる。全国より大きければ、東十条は、はんしょくしやすい、小さければ、はんしょくしにくいとはんだんする。さらに聞きこみをして、新しい巣もさがす。

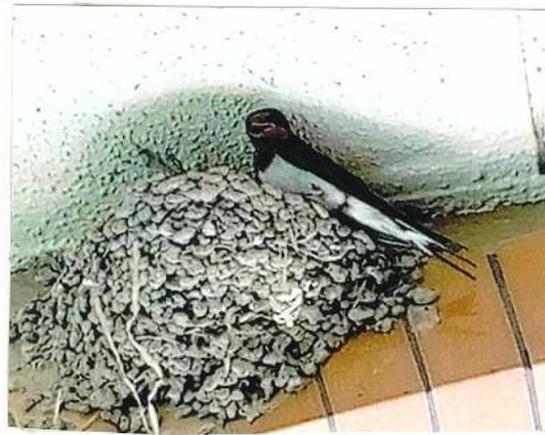


● マークは、去年子育てが行われた巣

✓ マークは、今年子育てが行われた巣

★ マークは、今シーズンで2回以上子育てが行われた巣

◆ マークは、今年新しく見つけた子育てをしていた巣



まず今年も去年と同じ場所で子育てをするわり合についてだ。もととなる去年子育てが行われた巣の数は9つだった。今年、去年と同じ場所で子育てが行われた巣の数は5つだった。よってわり合は、

東十条では  $5 \div 9 = 0.555\cdots$  となる。  
(比べる数) (もとにする数) (わり合)

つまり、約56%のツバメは、去年と同じ場所で子育てをする。全国の帰かりつ(ここでは、去年ここにいたツバメが今年もまた同じ場所で巣を作るわり合とする。)を調べたところ、40%だそうだ。もっとわくわくいうとおすは47%、めすは33%だそうだ。なぜ、おすとめすで数字がちがうのかということ、おすが日本にもとってきて、5日以内にそのペアのめすが到着すると、前年と同じペアになる。しかしめすが先に到着してしまうと、ちがうペアにならってしまう。つまり、おすは待っていてくれるけど、めすは待っていてくれないからである。東十条で子育てをしているツバメのおすは、めすより先に到着し、めすをエスコートするのが上手なシエントルマンなのかもしれない。そして東十条は、ツバメに選ばれし街である。次に、シーズンで、2回以上子育てをするわり合についてだ。もととなる、今年子育てが行われた巣の数は6つだった。そのうち、今シーズンで2回以上子育てが行われた巣の数は5つだった。よってわり合は、

東十条では  $5 \div 6 = 0.833\cdots$  となる。  
(比べる数) (もとにする数) (わり合)

つまり、約83%のツバメが、1シーズンで2回子育てをする。この数字は全国とほぼ同じだった。

## 5 分かったこと

今回の観察で分かったことは2つあった。1つ目は、おすとめすの帰かりつから東十条で子育てをしているツバメのおすは、子育てに積極的なイクメンで、めすは待てない浮気者だということだ。2つ目は、東十条はツバメに愛されているということだ。本当は、去年子育てが行われた巣に今年もツバメが100%帰ってきてほしかった。だが、ツバメは1年以内で7~8わりが命を落としてしまうという現実から見れば、東十条の帰かりつになっとくだ。一見へってしまったように見えるが、今年新たに子育てを始めた巣もあった。これは未来につながるうれしい出来事である。



## 6 感想

私は、予想で、「東十条は子育てがしやすい」と書いたが、東十条の帰かりつがこんなにも高いんだとびっくりした。東十条がツバメに選ばれていると知ってうれしかった。しかし、全国的にはツバメの巣は年々へっているそうだ。消えゆくツバメを守るために、建物に人工のツバメの巣を設置する活動がある。大人になったら、私も自分の家を建て、参加して、ツバメと共生できる街づくりをしたいと思う。どうか今年巣立ったツバメたちが、長い旅を終えて来年もまた東十条にもとってきますように。願いをこめて。



## 7 参考文献

oSkaw68.com/2021/3/12/post-16702/#:~:text=

oツバメ.XYZ/archives/539

oKain-net.com/tsubame-sudathi

